

新規就農に向かって……
研修生募集中!!



未来に繋げる

「友」とは……

友達：互いに心を許し合って対等に交わる。一緒に学び語り合い親しくなる。

友情：共感や信頼の情を抱き合って互いを肯定し合う人間関係。

親友：互いに信頼し合う。

盟友：かたい約束を結んだ友。同志。こころざしや主義・主張を同じくする。

交友：地域との交友を図る。



北才ホーツク出資型法人
トモ
株式会社 Farm to-mo(友)

Farm to-mo施設の概要

会社概要

- ・設立 2019年6月
- ・所在地 北海道紋別郡興部町字沙留 634番地の30
- ・代表者 吉田隆好 (JA北才ホーツク代表理事組合長)
- ・資本金 98,250,000円
- ・事業内容 酪農
- ・主要取引先 JA 北才ホーツク・ホクレン
地域の生産者戸数を維持するため
オホーツク管内初となる研修機能付き生産法人を立ち上げました。
- ・設立目的 これからやる気のある全国各地からの新規就農希望者を受入れ
研修・教育・指導を通して担い手を育てていく決意です。



○堆肥舎 (103.68m²)

○スラリーストア (4,261.4m³)

○育成舎 (1,100.21m²)

フリーストール
7~20ヶ月齢84頭
バーンスクレッパー
エサ押しロボット

○哺育舎 (637.54m²)

フリーバーン
0~6ヶ月齢64頭
哺乳ロボット (LELY) 1台

機械庫乾草庫
(388.8m²)

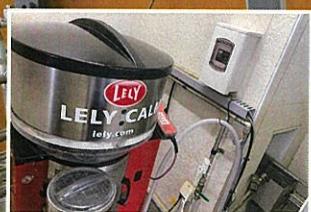
研修棟 (65坪)

先端技術でオートメーション化を実現

搾乳や除糞作業に時間を取られることなく牛を見る目を養います



さまざまな搾乳方式を体験できます。



哺育舎 哺乳ロボ
10日～2ヶ月齢



哺育から成牛まで一貫した飼養環境を勉強します。



JA 担い手対策課



会議室

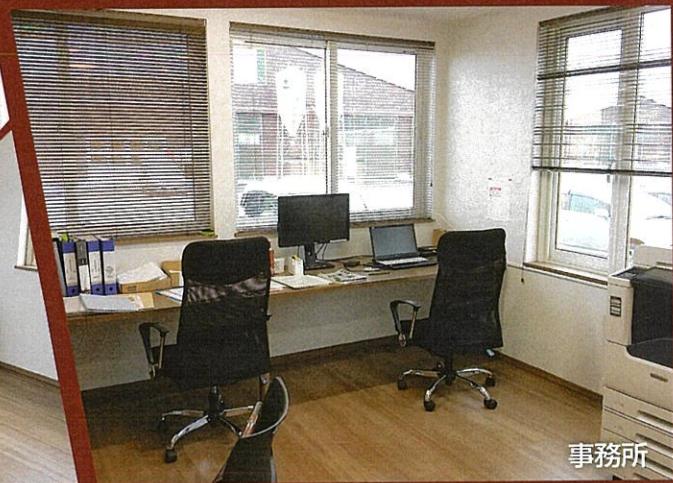
研修棟を完備 座学を学びます。



男女別休憩室 (短期研修宿泊用)



女性用休憩室



事務所



リビング



キッチン

宿泊滞在施設 2LDK 完備
世帯で安心して暮らせます。

株式会社沙留 TMR センター
構成員 8 戸
バンカーサイロ 25 基 32,400 m³
飼料調整庫 2 棟



株式会社沙留TMRセンターと連携

650ha の草地から良質なサイレージが供給されます

(株) Farm to-mo は飼養する頭数を販える草地を所有していません。
この TMR センターからの供給を受け、地域と一体化した
取り組みを行います。



JA 北オホーツク
コンタラクターが牧草収穫を担う

従業員紹介

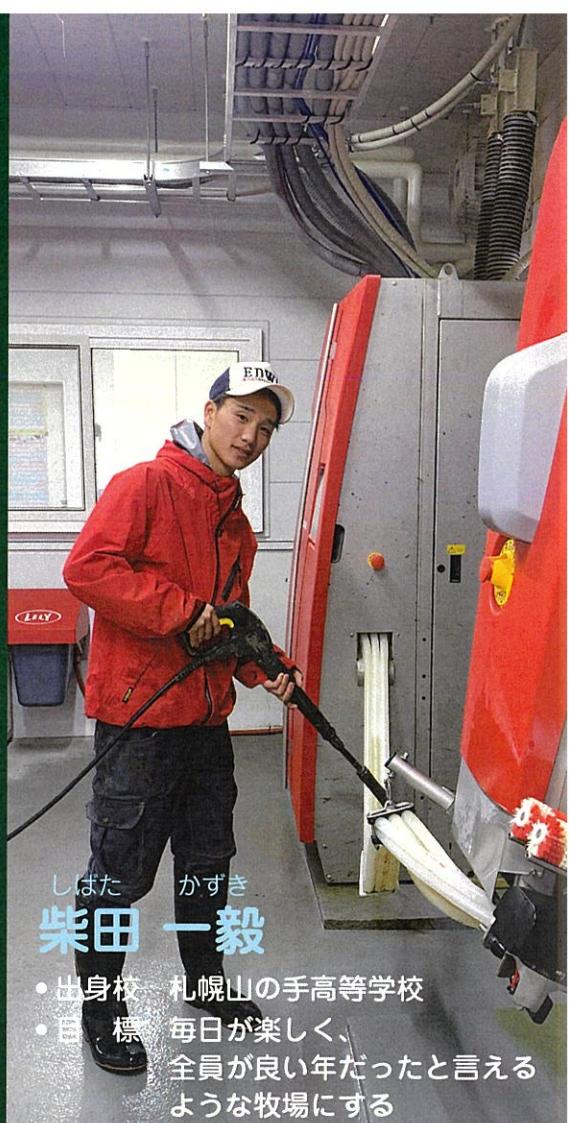
はせくら あゆみ

支倉 愛美

- 出身校 北海道立農業大学校研究科
- 目標 牛が健康で、酪農の魅力がわかる牧場にする。



データリィマン 2022.5月号掲載



柴田 一毅

- 出身校 札幌山の手高等学校
- 目標 毎日が楽しく、全員が良い年だったと言えるような牧場にする



主任

まるやま ゆうな

丸山 祐奈

- 出身校 帯広畜産大学別科
- 目標 従業員同士のコミュニケーションを大切にして、楽しく笑顔で働ける魅力のある研修牧場にする。

(データリィマン 2022.5月号掲載)

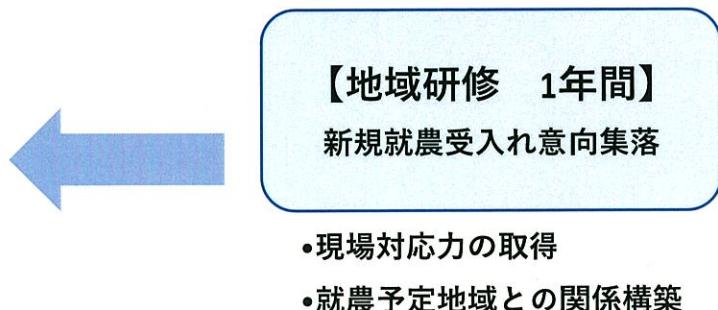
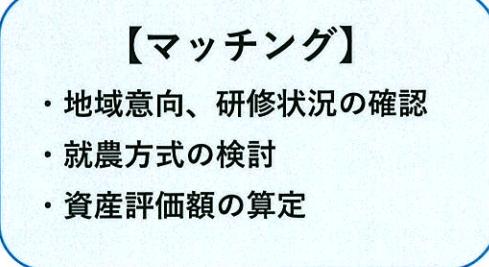
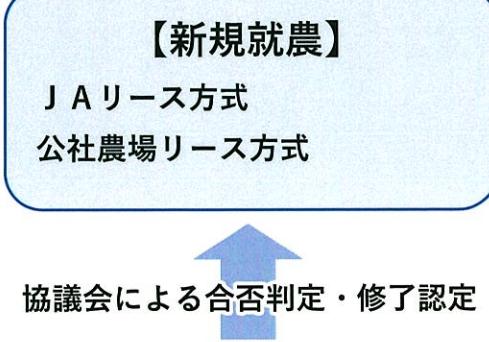
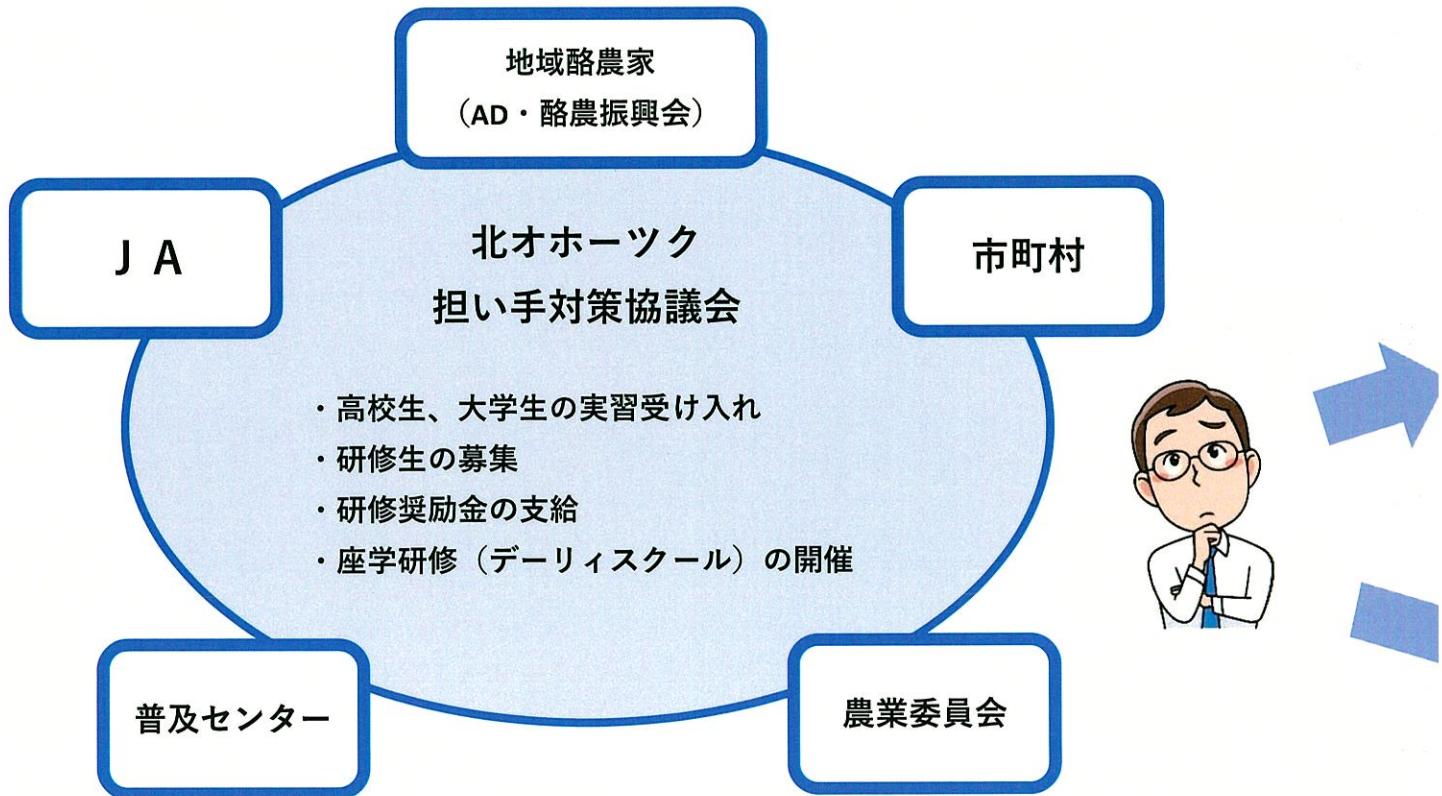


永井 杏樹

- 出身校 北海道帯広農業高等学校
- 目標 積極的に学びにいく姿勢を持ち、「良い牛をつくるにはまず環境から」をスローガンに行動する

新規就農者 担い手

地域で将来像を話し合い、地域の人と農地の
新規就農者の受入意向



確保のために～

問題解決について協議（人・農地プラン）

- ・就農予定地の明確化

JA北才ホーツク出資型法人
株式会社 Farm to-mo

- ・体験、実習
- ・新規就農研修
- ・作業機取扱研修
- ・後継者、職員等の研修教育



【地域酪農家】

- ・繋ぎ形式
- ・放牧型
- ・農家密着型

Farm to-mo
tomo

【基礎研修 1年間】

本当にやりたい道は・・・



経営継承型
新規就農

法人構成員
農場従業員
酪農ヘルパー

コントラオペ
TMRセンター従業員

- ・雇用の確保
- ・規模拡大支援

- ・オペレーターの確保
- ・コントラクターの拡充

新規就農研修生受け入れのご案内

様々なサポートで
新規就農を応援します。



研修生の要件

農業経営者になることに強い意欲を有している方
概ね 18 歳から 40 歳までの方で配偶者及び婚約者がいる方



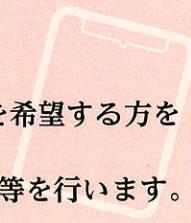
研修期間・研修先

研修期間は過去の経験と技量により担い手対策協議会が判断します。
研修先は本人の希望を取り入れますが(放牧型など) 基本 1 年間は Farm to-mo となります。



研修内容

研修プログラムに沿って研修します。(関係機関・団体が連携し、新規就農を希望する方をバックアップする支援システムにより指導します。)
地域の農業事情を幅広く把握するため、視察研修・地域農業者との情報交換等を行います。



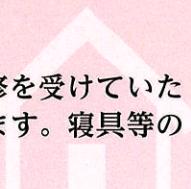
研修手当

研修生 1 名の方に月額 200,000 円を支給します。
夫婦 1 組の方に月額 350,000 円を支給します。



住宅・食事・寝具・作業着

JA 宿泊研修施設または公営住宅・借家等に入居していただき、通いで研修を受けていただきます。(通いの車両は各自ご用意ください。) 食事は自炊していただきます。寝具等の生活用品は、各自で用意願います。作業衣は研修先農家が貸与いたします。



福利厚生

研修期間中の私疾病による療養費は本人負担とします。
研修中の労働災害に対処するため、北オホーツク農業担い手対策協議会が傷害共済保険に加入します。



交通

オホーツク紋別空港、または女満別空港及び JR 名寄駅まで何れも送迎いたします。
その他についても相談に応じます。



新規就農者優遇措置

■ 酪農経営をお考えの方に

興部町・雄武町では新規就農者誘致特別支援措置条例により、次のような優遇措置があります。

新規就農
奨励金

興部町・雄武町内で新規就農された方に奨励金を交付します。

認定を受けた新規就農者に対し、200万円を限度として奨励金を交付します。

賃借料等
助成

一定期間、農地等の賃借料・譲渡施設の固定資産税を助成します。

担い手確保農地保有合理化推進特別事業及び農場リース円滑化事業により農用地及び農業用施設等の賃貸借契約を締結している期間（5年以内）または、農用地利用増進法に基づく農用地利用権設定期間のうち、5年間に係る賃借料の1/2、および農場譲渡後最初の施設に対し、固定資産税が賦課された年度から5年間固定資産税の額を限度として奨励金を交付します。

経営自立
安定
補助金

農業関係制度資金の借り入れに対し補助金を交付します。

農業経営に必要な農用地及び農業施設等の取得、並びに家畜等を導入するため借り入れをした、農業関係制度資金に対して、その制度資金の1/5を限度とし、経営自立安定補助金を交付します。なお、経営安定自立補助金の交付額は1,000万円を限度とし、制度資金借入の年度から5年間にわたり均等交付します。

借り入れ
補給

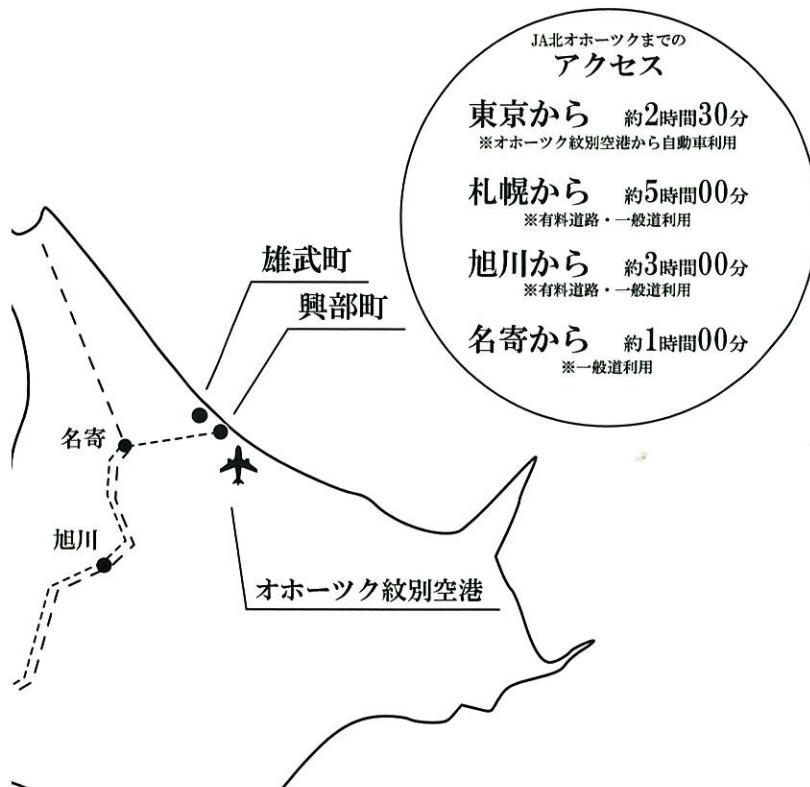
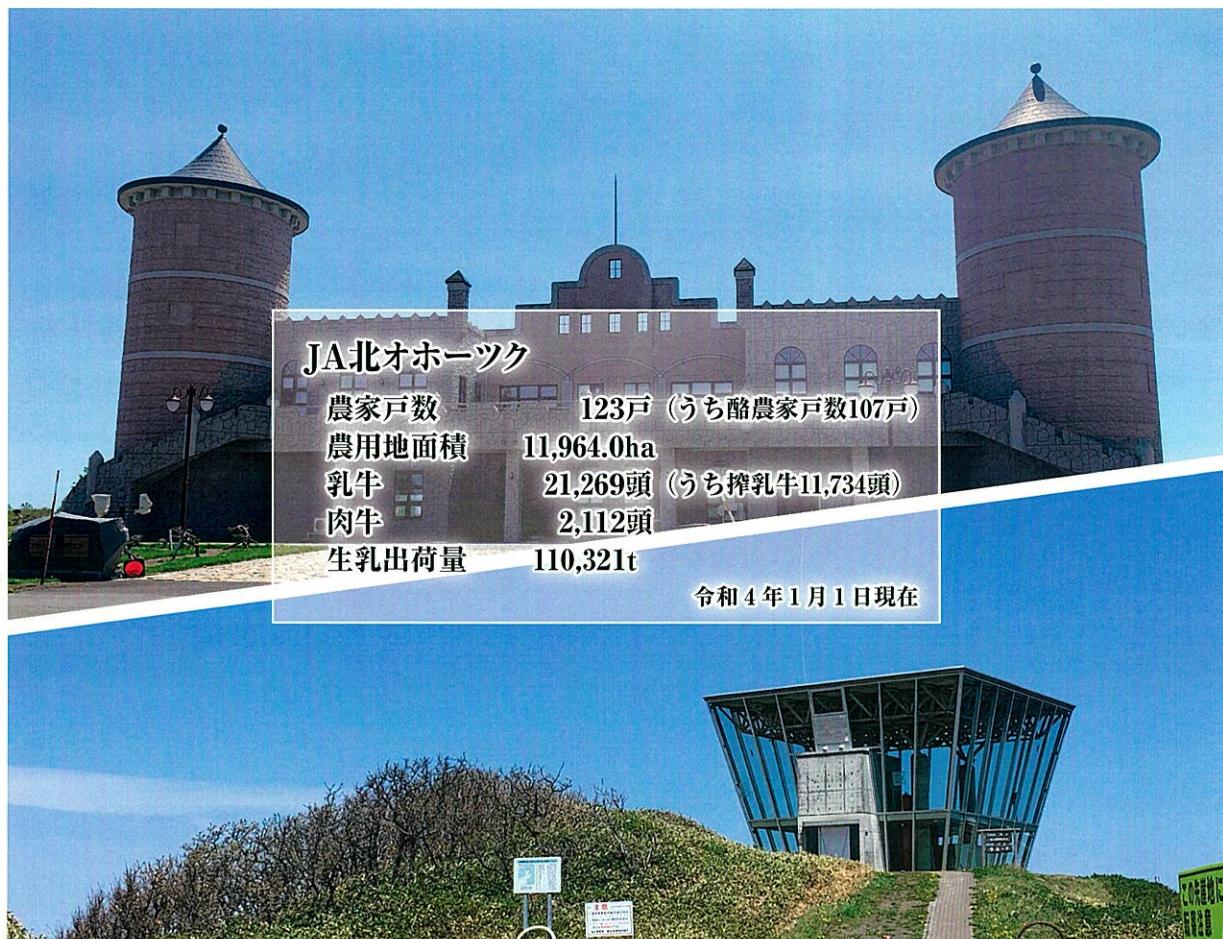
制度資金の借り入れで発生する利息の利子補給を行います。

農業経営に必要で借り入れした制度資金の借り入れ利息に対して、借り入れの年度から5年間、1/2の範囲で利子補給します。



酪農郷 JA北才ホーツク

オホーツクの大地おこっぺ町・おうむ町で酪農をしてみませんか



北才ホーツク 農業担い手対策協議会

TEL 098-1941

北海道紋別郡興部町字沙留634番地の30
研修牧場 Farm to-mo 研修棟内

FAX 0158-85-7850 FAX 0158-85-7860

E-mail ninaite@ja-kitaokhotsk.jp

Web site <http://www.ja-kitaokhotsk.jp>